

広 報 く に み

KUNIMI

5

2023

No. 598



Cover

今月の表紙は、内谷春日神社太々神楽の様子です。

町指定無形民俗文化財に指定されている内谷春日神社太々神楽。毎年4月の第3日曜日、内谷春日神社例大祭に合わせ神楽が奉納されます。神楽を守り伝えるべく、保存会の皆さんが後継者の育成など次世代への継承を行っています。

Contents

- 02 … 一連の新聞記事に関する住民説明会
- 06 … 町内会長連絡協議会総会
- 08 … 笑顔のひろば
- 10 … 地域おこし協力隊が着任
- 14 … まちのわだい

ほか

皆さまからいただいた

ご意見・ご要望を お知らせします

一連の新聞記事に関する住民説明会



日頃より町政全般に対し、ご理解と協力をいただきありがとうございます。
この度の一連の新聞記事により、町民の皆さまにはご心配とご迷惑をおかけしたことについて、改めてお詫び申し上げます。
町では4月15日から23日まで、14回の住民説明会を開催し、「高規格救急自動車研究開発事業」、「くにみ学園基本構想」の経過説明を行い、町民の皆さまから多くのご質問とご意見をいただきましたので、お知らせいたします。

高規格救急自動車研究開発事業

問 企業版ふるさと納税と通常版ふるさと納税では何が違うのですか。

答 通常のふるさと納税は個人が自治体に寄附し、そこから返礼品を受けとるものです。今回の企業版ふるさと納税は、企業が自治体へ使用を限定して寄附を行い、企業は寄附額の9割の税額控除を受けられます。

問 企業版ふるさと納税制度を利用し、寄附をした企業とワンテールは何か関係があったのですか。

答 関係はありません。

問 なぜ12台もの高規格救急自動車を作ったのですか。

答 寄附の金額及び使途を限定されたことから、12台と決定しました。

問 高規格救急自動車1台当たりの値段が高すぎるのではないのですか。

答 研究開発も含めた金額です。なお、研究開発が完了していない部分については減額しました。

問 高規格救急自動車研究開発事業を決めたのは、安易すぎたのではないのですか。

答 事業を実施するにあたり、相手を慎重に調査すべきだったと反省しています。寄附した企業が指定した使途を尊重しながら、消防組合へのアンケート調査を踏まえ、町が判断し事業を行いました。

問 12台の高規格救急自動車を町で使う予定だったのですか。また町のメリットは何ですか。

答 高規格救急自動車12台をリースし、使用現場からさまざまな意見要望を聞き取り、取りまとめ、研究開発に活かす予定でした。その後、町へ事業所や工場の誘致をして新たな産業と雇用の創出につながろうと考えました。

【次ページへ続く】

問 12台の高規格救急自動車のリースをなぜやめたのですか。

答 ワンテール島田代表取締役の一連の発言で信頼関係が損なわれたため、事業を取りやめました。

問 高規格救急自動車の研究開発をワンテールに決定した経緯は何ですか。

答 昨年11月に事業を引き受けてくれる企業を公募した結果、ワンテール社の応募がありました。外部の専門家を入れた審査により、ワンテールに決定しました。

問 ワンテールは救急車を製造する会社なのですか。

答 製造したのは、ワンテールの下請けであるベルリングという会社ですが、研究開発はワンテールが担いました。

問 始めからワンテールありきの事業だったのではないのですか。

答 公募型事業であり、ワンテールありきで行った事業ではありません。

問 仕様書はワンテールが作成したのですか。

答 町で作成しました。作成にあたっては、さまざまな仕様書などを参考としました。

問 仕様書で他社を排除したのですか。仕様書には機能を上回るものを排除しない旨の記載をしており、排除はしていません。

問 ワンテールとはどのような会社ですか。

答 宮城県多賀城市に本社がある、防災ゼリーの製造・販売や、防災関係のコンサルタントを行っている会社です。

問 町は防災ゼリーを製造しています。が、通常よりも割高だったと聞きました。

答 国見町産の桃を新たな原料としたため、桃の果汁の雑菌除去にかかる経費が割高となっています。また、町のPRを兼ねたオーダーによる限定生産のため、製造数量が少なかったり、特別なパッケージデザイン経費なども加算され、市販品よりも割高となりました。

問 町が所有している高規格救急自動車はどこにあって、管理費等などのくらいかかっているのですか。

答 12台の高規格救急自動車は、宇都宮市の工場で保管しています。5月までの保管料は無料ですが、6月から来年3月までの保管料は66万円です。この予算は、議会で議

問 決をいただきました。財源は企業版ふるさと納税です。なお、ナンバーは取得していませんので税金等の負担はありません。

問 12台の高規格救急自動車は12月に契約し、3月に完成していますが、そんなに早くできるのですか。

答 3月までの完成を条件としたことと、医療機器等の装備がなかったため可能だったと理解しています。

問 高規格救急自動車をどこに寄附するつもりなのですか。

答 高規格救急自動車は、伊達地方消防組合や公立藤田総合病院、国見町と連携している町、また説明会での意見を受けて、原発事故などの被害を受けた県内の消防本部、ウクライナなどを検討します。

問 4億円もの税金を無駄にしたのではないのですか。

答 この事業は、企業からの寄附金「企業版ふるさと納税」だけで行っています。

問 企業版ふるさと納税をした企業を教えてください。

答 寄附をした企業は3社でした。ただし、寄附をした企業の意向により、会社名の公表を控えています。

問 企業版ふるさと納税は、寄附企業への見返りが禁止されているようですが、どうなのですか。

答 内閣府では、公正公平な手続きを経れば寄附企業との契約も可能としています。なお、町では公募による事業者の選定を行いました。

問 第三者委員会を設置して対応すべきだと思います。

答 今後、同じことが起こらないように、設置について検討を進めます。

問 今回の件について、町の対応が遅かったのではないのですか。

答 関係者からの聞き取りや、顧問弁護士への相談などに時間がかかりました。今後は丁寧な情報提供に努めます。

問 ワンテールは平成30年ごろから町と関係を持っているようですが、今後はどうなるのですか。

答 一切関係を持ちません。

問 町民目線の行政運営をお願いします。もっと早い段階で町民にお知らせするべきだったのではないのですか。

答 町民の皆さまに、ご心配をおかけしたことは申し訳ありませんでし

【次ページへ続く】

た。今後はより一層、町民目線に立った行政運営を心掛けます。

問 ワンテーブルに対して、町として何か対応をするのですか。

答 顧問弁護士と相談しながら、対応を検討します。

問 当事者意識が足りないのでは。町長として、どのような責任を取るつもりですか。

答 今回の件について、町民の皆さまにご心配をおかけしたことに深くお詫び申し上げます。当事者として、町長としてこの件についてしっかりと対応した後、自分自身で判断していくこととします。

問 今の官民共創コンソーシアムについては、今後どうするのですか。

答 いったん白紙に戻します。

問 今後の官民連携のあり方について、どのように考えているのですか。

答 官民連携事業は、今後のまちづくりを進めるうえで必要なことと考えています。ただし、再び同じことが起こらないように、今よりも一層、相手方の調査を徹底して見極めることとします。

小学校には普通学級に在籍していても、何らかの支援を必要とする児童が30人ほどいます。このため、今年度から通級学級を開設し、児童一人ひとりに寄り添った支援に取り組んでいます。

問 現在クラス数も減って、空き教室もあると思います。まずは、その空き教室を使って小中学校を統合することはできないのですか。

答 福島県は少人数の学級編成をしています。国見小学校でも県の方針に基づいて学級編成をしていて、全ての学年で2学級となっています。以前と比較すれば学級数は減少していますが、一方で特別支援学級が増えていて、今年度からは通級学級も新設したため、空き教室はない状況です。

問 資料で挙げられている課題は、施設を一か所にするだけで解決するものではないと思います。

答 施設を一か所にすることで、すべてが解決するとは思っていません。教育課程や学校行事などの工夫、家庭や地域の協力など、学校・保護者・地域が一体となることで、一貫教育の効果がより現れるものと考えています。



くにも学園基本構想

問 くにも学園構想はワンテーブルからの提案だったのですか。

答 ワンテーブルからの提案ではありません。

問 くにも学園基本構想に民間企業は関係していたのですか。

答 全国の最新事例や、未来の学校に向けた研究などの紹介を受けたりするため、ワンテーブルが事務局を担う国見町官民共創コンソーシアムに参画する3社4名に地域活性化起業人として委嘱をしました。なお、任期は終了しており、今年度の委嘱はありません。

問 パブリックコメントの期間が短く、応募できませんでした。再度、意見を募集する機会はあるのでしょうか。

答 期間が短かったとの意見をいただいています。今後も皆さんと意見交換する場を設けていきたいと考えています。また、パブリックコメントは再度行う予定です。

問 一か所にすることでメリットばかりではなく、デメリットもあるのではないですか。

答 義務教育学校とすることで「小学校の卒業式」や「中学校の入学式」などがなくなることは、デメリットの一つと考えられますが、先進の義務教育学校では、「立志式」や「2分の1成人式」などの行事に取り組むことで解消しています。今後は、メリットだけでなくデメリットも提示し、広く議論、意見の集約を図っていきます。

問 箱ものを作る前に、給食費無償化などの手厚い支援をしてください。町では、他自治体に先駆けて給食費の無償化や奨学金支援も行っています。くにも学園基本構想はこれらの政策の一つです。

問 ワンテーブルは策定委員会の委員だったのですか。

答 ワンテーブルは委員でもありませんし、事務局でもありません。

問 策定委員会の議事録にワンテーブルの名前があるのですが、どうしてですか。

答 ワンテーブルは、策定委員会に傍聴者として参加していた地域活性化起業人の活動記録や連絡調整のためだけに同席していました。

問 学校運営に民間企業を関与させるべきではないと思います。

答 ワンテーブルの関与をイメージされているの質問だと思いますが、町は学校運営を民間企業に委託しようとは考えていません。

問 くにも学園の整備費用が数十億円と報道されていますが、財源はどうするのですか。また、企業版ふるさと納税は活用しないのですか。

答 場所や整備の方法も決まっていないので、町は整備費用を示していません。今後、整備費用を積算する際には、国庫補助金や過疎債などの財源を検討します。なお、企業版ふるさと納税制度自体は悪いとは思いませんが、その活用は慎重に判断したいと考えています。

問 国見町にとって非常に大きな事業なので、拙速に進めるのではなく、インシヤルコスト（建設費用）、ランニングコスト（維持管理費用）の比較も含めて検討してください。

答 教育を考える上では、丁寧に進めていきたいと考えています。建設費用などについては、調査を実施していきます。

説明会では 次のような意見も寄せられました

■ 保護者同士で話をすると、反対する人もいますが、概ね賛成の意見が多いです。財源の問題は本当に大切で、慎重に検討すべきだと思いますが、施設の老朽化も進んでいるので、子どもには良い環境で学び育ってほしいです。

■ 国見町の教育は遅れていると言われました。以前は小学校と幼稚園が隣り合い、連携ができていました。くにも学園ができれば、この町で子育てをしようと思う人も増え、くにも学園で学び、育った子どもたちが、良い町だと戻ってくる流れができると思います。

問 くにも学園整備費が50億円と聞きましたが、本当ですか。

答 基本構想の段階では、場所も整備の方法も、仮設校舎の有無も決定していないので、費用は示していません。ワンテーブル島田代表取締役の音声データがインターネット上で公開されていて、「50億円」と発言しているようですが、町が検討している基本構想に乗じて、一企業の社長として発言したものと考えています。

問 令和6年8月に建設工事が始まる

と聞きましたが、本当ですか。

答 基本構想の策定に入る令和4年9月の段階で、事業の概ねのスケジュールを想定する必要があったことから、令和6年8月着工と策定委員会の資料に記載していました。しかし、基本構想の策定を丁寧に進めていきますので、来年から着工するようなことはありません。

問 特別支援学級や不登校の児童生徒が増加傾向にあるとの説明がありました。他市町村と比較することなのですが。

答 他市町村も同様に増加傾向にありますが、国見町が特に多いということはありません。なお、国見

【次ページへ続く】

■ 子育て世代としては、くにも学園構想を応援したいです。既存施設を大切に使うとしても、今後、相応なコストはかかってくると思います。地域全体で子どもを育む環境を、地域住民や議会、みんなで作ってほしいです。

■ 理念は理解しますが、人口減少・少子化の時代に、大きな施設を新たに作る必要はないと思います。

■ 国見町は過疎指定を受けた町です。学園構想を実現しようとするば、財政的な問題が大きい。今後が見通せない中で、急いでやることではないと思います。

■ 以前の統廃合で廃校となった校舎は、十分に利活用されているとは思えません。施設を集約化するならば、使わなくなった施設や跡地の利用についても、しっかりと検討してほしいです。

■ 人口減少に伴い、コンパクト化が求められている中で、未来を見据えた構想だと理解しています。

■ 町・議会・町民に分断があると、若い人たちはそれを嫌うと思います。

新たな一歩を踏み出した皆さん
おめでとうございます——



4月6日
国見小学校入学式



4月5日
藤田保育所入所式



4月10日
くにみ幼稚園入園式



4月6日
県北中学校入学式

放課後塾ハル、新年度スタートします！

この春から新体制となりましたので、スタッフを紹介します。



■ 塾長 三好菜月

塾長の三好です。
放課後塾ハルがオープンしてから3年目を迎えます。
これまでの活動に加えて、子どもたちの学ぶ意欲や主体性を育めるような取り組みを、今年はさらに進めていきます。

■ スタッフ 早坂恭一

中学部の早坂です。
国見町に着任し4か月が経ちました。
春風とともに心をあらたに、子どもたちのよい学び場をつくっていきます。



■ スタッフ 玉村優人

中学部の玉村です。
今年度は、昨年度よりもさらに子どもたちと一緒に目標に向かって挑戦し、学んでいくことのできる場をつくっていきます。

■ スタッフ 和島はづき

小学部の和島です。
今年度も子どもたちとたくさん学び、遊び、笑顔いっぱいの時間をハルでつくっていききたいと思っています。
これから1年間、どうぞよろしくお願いいたします。



■ スタッフ 仲田真子

4月から小学部のスタッフになりました。
子どもたちと一緒に楽しみながら、全力で向き合っていきたいと思っています。



今年は、この5人体制で運営をしていきます。
皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

放課後塾ハルは随時、新規入塾者を募集しています。
ぜひ、お気軽にご相談ください。

Email: houkagojuku.halu@gmail.com
TEL: [中学部] 080-7236-6232 / [小学部] 080-9151-6442
※ 12:30 ~ 21:30 土日祝日、年末年始を除く。

＼新隊員は3人！！／

新たに地域おこし協力隊が着任

原田隊員と伊藤隊員は町の関係人口創出、仲田隊員は放課後塾ハルの運営を担当します。

■町の地域おこし協力隊に応募したきっかけは

国見町のオープンな雰囲気惹かれ、実際に暮らして魅力をもっと体感し、発信したいと思ったからです。

■今後の活動、国見町で挑戦したいことは

町の歴史や観光、グルメ、人々などを積極的にリサーチして、SNSなどで国見の魅力を発信していきたいです。私はずっと演劇を続けてきたので、演劇を通じて地域の方とつながる機会もつくれたらうれしいです。

■町の皆さんへひとこと

魅力いっぱいの国見町を多くの方に知っていただけるよう頑張りますので、これからどうぞよろしくお願いいたします！



原田 つむぎ

(はらだつむぎ) 29歳。伊達市出身、
日本大学芸術学部演劇学科卒業。高校時代から部活動で演劇を始め、現在も俳優や衣装家として舞台を中心に活動中。趣味は芸術鑑賞や韓国語学習など。



伊藤 愛

(いとうあい) 26歳。矢吹町出身、福島大学卒業。白石市の現役農家。大学では小中高の教員免許を取得。卒業後は地域メディアの営業・編集を経験。趣味はイラスト製作で似顔絵が得意。

■町の地域おこし協力隊に応募したきっかけは

国見町の自然豊かな景観に魅了され、農業や町づくりなどに自分のスキルを生かしたいと思ったからです。

■今後の活動、国見町で挑戦したいことは

高校生以上対象のまちづくり実践講座「エリアデザインラボ」やSNS等の運営に携わりながら、国見町への理解を深めつつ、デザインや農業など、自分の経験を生かした持続可能なまちづくりを実現していきたいです。

■町の皆さんへひとこと

活動をととして、地域の皆さんに寄り添えるような、頼もしい存在になりたいです！よろしくお願いいたします。

■町の地域おこし協力隊に応募したきっかけは

多くの方々が子どもたちの学びを支える国見町の教育に惹かれました。私も支える1人になりたいと思い、応募しました。

■今後の活動、国見町で挑戦したいことは

放課後塾ハルの小学部スタッフとして、宿題のサポートや子どもたちの興味関心を広げる授業を実施します。国見町ならではの環境を生かし、さまざまな学びの機会を子どもたちに提供し、私自身も一緒に学び、挑戦していきたいです！

■町の皆さんへひとこと

国見町に来たばかりなので、これからもっと町のことを知っていきたいです。よろしくお願いいたします！



仲田 真子

(なかだまこ) 22歳。長野県出身、埼玉大学教育学部卒業。大学では臨床心理学のゼミに所属し、小学校教諭免許と幼稚園教諭免許を取得。学童保育でのアルバイトなども経験。趣味は中華料理店巡り。

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



Vol.71

元気に・仲良く・楽しさ満開 さくらと菜の花まつり

4月9日にあつかし歴史館で「さくらと菜の花まつり」が行われ、校庭に広がるあつかしみんなの花畑では、菜の花がきれいに咲き誇っていました。風が強く、少し寒さを感じる日でしたが、青空の中でのイベントとなりました。



▲菜の花が咲いたあつかしみんなの花畑



▲歌の合唱とギターによる演奏

イベントは歌の合唱と大正琴の演奏で始まり、歴史館のサポーターによる史跡や文化財の説明も行われました。

なかでも、招福・七福神踊りでは来場者も一緒に踊り、会場は大変賑わいました。



合唱に参加した大沼さん

あつかしみんなの花畑の合唱では、旧大木戸中学校校歌のメロディを再現しました。楽譜を作り、約60年ぶりのメロディ復活となりました。あつかし楽団としてみんなの歌声とギターの演奏が校庭に響き渡りました。

ホノルル福島県人会ふるさとツアー歓迎会 ～国登録有形文化財 松田家住宅～



▲輪になって踊った盆踊り

4月15日に盆ダンス福島実行委員会の主催で、ホノルル福島県人会を迎え入れる歓迎会が、国登録有形文化財の松田家住宅で行われました。



▲日本舞踊の披露

ハワイでは「盆ダンス」として親しまれている「盆踊り」を、みんなで輪になって踊ったり、子どもたちによる日本舞踊を鑑賞して交流を深めました。

4年ぶりの演目も！ 内谷春日神社太々神楽



▲神楽奉納 演目「神招」

4月16日に内谷の春日神社で例大祭が行われ、太々神楽の舞が披露されました。

今年の神楽の奉納では多くの子どもたちが参加し、6演目を披露しました。

保存会の会長は、「今年は地元開催だったが、来年は盛大に行う」と意気込みました。

保存会では神楽の参加者を募集中。今後は神楽教室も開講予定です！

興味のある方は、企画調整課地域振興係（☎ 585-2967）までご連絡ください。

— Activity Report —

Vol.33

地域おこし協力隊活動日記



早坂 恭一
(Kyoichi Hayasaka)

感謝とエールを込めて——

こんにちは。地域おこし協力隊の早坂です。

国見町に着任し、4か月目を迎えました。日々楽しく、放課後塾ハルの運営に携わっています。

3月には、中学3年生たちの「卒塾式」がありました。高校に羽ばたいていく彼ら彼女らに感謝とエールを込めて、クイズ大会や卒塾証書授与式などを盛り込んだイベントを用意しました。

来月には、新中学1年生たちが入塾します。

新たな出会いを楽しみに、生徒たちがワクワクを感じられる教室運営を目指していきます。



▲イベントの参加者たちで記念撮影



▲卒塾式で用意されたケーキ



さとうりな



えんどう みなと



さいとう るい



あべ ゆづき



よしだ りの



ごとう あいり

くにみ幼稚園（年長組）

心すなまオたち

福島県代表として全国大会へ 国見町文化・スポーツ活動等激励金交付式

第41回全日本バウンドテニス選手権大会に、福島県代表として出場する嶋原陽子さんが4月6日に国見町役場を訪れ、引地真町長から激励金が手渡されました。

激励金を受けとった嶋原さんは「初めての全国大会ですが、楽しんで競技をしたい」と意気込みを話しました。第41回全日本バウンドテニス選手権大会は6月3日から4日にかけて、東京体育館メインアリーナ（東京都）で開催され、嶋原さんはシングルス部女子フリーで福島県代表として出場します。



激励金を受けとった嶋原陽子さん（右）

自衛官の募集に協力 自衛官募集相談員を委嘱

自衛官募集相談員の委嘱状交付式が4月10日に国見町役場で行われ、引地真町長、自衛隊福島地方協力本部武田智裕副本部長から赤井畑直明さんへ委嘱状が交付されました。

赤井畑さんは再任で任期は2年間。引き続き相談員として自衛官の募集や広報などに協力していただきます。委嘱状を受けとった赤井畑さんは「自分にできることがあれば協力していきたい」と話しました。



委嘱状が交付された赤井畑直明さん（中央）

あま〜いイチゴをありがとう！ おいしいイチゴに笑顔あふれる

ふくしま未来農業協同組合は4月21日、伊達地区で生産された安全で甘くておいしい「とちおとめ完熟品」をくにみ幼稚園の園児に贈りました。イチゴを受けとった園児たちからは、お礼に手作りの感謝状が手渡されました。

その日の給食の時間には、いただいたイチゴが振舞われ、大きくて真っ赤なイチゴを口いっぱい頬張った園児からは、満面の笑みがこぼれていました。



おいしいイチゴをありがとうございます！

児童の読書活動に役立てて 福梁製作所が図書券を寄贈

株式会社福梁製作所（村岡賢一代表取締役）は国見小学校児童の読書活動振興のため、図書券10万円分を寄贈しました。図書券を受けとった国見小学校6年生で図書委員長の齋藤葵さんは「図書券で新しい本を買って、たくさんの人に読んでもらいたい」と話しました。

同社では、図書の充実に役立ててほしいと、昨年も国見小学校に図書券を寄贈しています。



新しい本を手にして笑顔を見せる齋藤葵さん（左）



ライトアップされた観月台公園の桜

夜空を彩るソメイヨシノ 観月台公園の桜をライトアップ

観月台公園桜のライトアップが3月24日から始まり、たぬめ池の周囲にある約100本のソメイヨシノが夜空に幻想的に浮かび上がりました。

桜のライトアップは、町を代表する桜の名所である観月台公園の夜桜を楽しんでもらおうと町商工会（渡辺勝弘会長）が主催。駐車場には県外ナンバーの車も多く見られ、訪れた人は思い思いに写真を撮るなどして夜桜を楽しんでいました。



マルチコピー機を操作し証明書を発行する引地町長

証明書発行をお手軽に コンビニでの証明書発行をスタート

国見町では、全国のコンビニエンスストアなどのマルチコピー機で、マイナンバーカードを使用して住民票と印鑑証明書を取得できるサービスを4月から開始しました。

4月3日には、引地真町長がミニストップ国見あつかしの郷店で住民票の写しと印鑑証明を実際に発行。引地町長は「役場窓口の時間内に利用することが難しい人でも利用できる」と話し、コンビニでの証明書発行の積極的な利用を呼びかけました。



佐藤校長にランドセルカバーを手渡す齋藤会長（中央）

新入児童の交通事故防止のために ランドセルカバーを贈呈

国見ライオンズクラブ（齋藤政利会長）と国見町交通対策協議会（引地真会長）は4月4日、国見小学校の新入児童46人に交通安全ランドセルカバーを贈呈しました。

贈呈式は国見町役場で行われ、齋藤会長から佐藤政俊国見小学校校長へ黄色いランドセルカバーが手渡されました。佐藤校長先生は「いただいたランドセルカバーを使用して、児童の登下校時の交通安全に役立てます」と話しました。

農業の担い手を育成

くにみ農業ビジネス訓練所長期研修生入講式

くにみ農業ビジネス訓練所長期研修生入講式が4月4日、同訓練所で行われました。

入講式では佐藤博志所長から菅野英人さんほか2人に入講許可書が手渡されました。長期研修生は1年間の研修で、新規就農に向けて野菜栽培や農業経営などの講義を受講。野菜の作付けから収穫までの実践経験を積み、将来の地域農業の担い手となることが期待されます。



1年間の長期研修がスタートしました

国見町子育て世代包括支援センター

ももさぽインフォメーション



ニコニコ相談会

- 実施日** 7月19日(木)
- 時 間** 午前10時～午前11時30分
- 会 場** 子育て支援センター(藤田保育所内)
- 対象者** 国見町在住の妊婦
国見町在住の乳児及び保護者
- 持ち物** 母子健康手帳、子どもの飲み物
- 申込み** 前日までにほけん課保健係または藤田保育所(☎585-2374)へ連絡

乳児健診

- 実施日** 7月27日(木)
- 受付時間** 午後1時15分～午後1時45分
- 会 場** 観月台文化センター 第1和室
- 対象者** 3か月児(令和5年3月生まれ)
9か月児(令和4年9月生まれ)
- 持ち物** 母子健康手帳、オムツなど
- 内 容** 医師の診察、身体測定、調乳、離乳、予防接種などについて

弁護士によるB型肝炎特措法 出張相談会(無料)

- 日時** 5月27日(土) 午後1時30分から午後4時
- 場所** コラッセふくしま 302A・B会議室
- 内容** 特措法に基づく救済や手続きの内容、弁護士への依頼の方法等に関する相談
- 問い合わせ** 全国B型肝炎訴訟新潟・福島・山形事務所
☎025-223-1130
- その他** 事前申し込み優先、当日、会場においても相談可能
担当弁護士が決まっている場合は、事前に事務局へ連絡(個人情報厳守)

院長先生の診察室から

【第18回】



公立藤田総合病院院長
近藤 祐一郎 先生

5月8日から、新型コロナウイルス感染症が5類感染症となります。感染者数は明らかに減少して、社会は通常に戻ってきたように報道されています。現在のところ、第8波のような大流行の可能性は低いと考えられています。しかし、コロナ感染症が消え去ったわけではありませんので、今後も注意が必要です。季節性インフルエンザに比べて感染力が非常に強いことが明らかであり、換気が難しく、密になる場合にはマスク着用をお勧めします。

コロナワクチンについては、高齢者や基礎疾患のある方は、5月以降に行政の指示に従って接種をご検討下さい(急いで接種する必要はありません)。病院や介護施設等での面会制限、マスク着用等の予防対策は、各施設の指示に従って下さい。

公立藤田総合病院では4月に31名の職員が新しく採用され、活気にあふれています。最近、外来患者さんが多く、ご不便をおかけしております。かかりつけ医による紹介や電話予約センターの利用をお願いします。

コロナ感染症は落ち着いてきましたが、この病気との付き合いはまだまだ続きそうです。過度に恐れず、感染対策を適切に行い、日常を過ごしたいと考えます。当院では感染症、自然災害等に対応できる体制を構築しつつ、地域において必要な医療の提供、介護・福祉との連携を行っていく所存ですので、よろしくお願いします。

ほけんだより

— Health topics —

国ほけん課 保健係 ☎585-2783

✉hoken@town.kunimi.fukushima.jp

総合検診の予約は電話予約をご利用ください!

令和5年度の総合検診は6月1日～14日(3日、4日、11日除く)に実施します。詳細は配布された「受診のしおり」をご覧ください。 ※年齢起算日は令和6年3月31日です。(②の検診以外)

検診名	対象者	留意点
①肺がん検診(胸部レントゲン)	40歳以上の方	①～⑤の検診:過去3年間に健(検)診を受けた方全員に受診録等を配布します。 ⑥の検診:申し込みされた方に後日、受診録を送付します。 ⑦の検診:対象年齢の方全員に受診録等を配布します。 ⑧の検診:検診会場で希望を確認します。 ※65～74歳の方で後期高齢者医療制度加入者も含まれます。
②後期高齢者健康診査	受診日に満75歳(※)以上の方(後期高齢者医療制度加入者)	
③胃がん検診(バリウム)	40歳以上の方	
④大腸がん検診	40歳以上の方	
⑤前立腺がん検診	50歳以上の男性	
⑥乳がん検診(6月9日、10日のみ実施)	40歳以上の偶数年齢の女性	対象者には町から受診録等を配布します。
⑦骨粗鬆症検診	40・45・50・55・60・65・70歳の女性	
⑧肝炎検査	40歳以上の方で今まで肝炎検査未受診の方	
⑨特定健康診査(特定健診)	40～75歳未満の方(受診日に満74歳までの方)(国見町国民健康保険加入者)	

○社会保険加入者の方(被扶養者のみ)も町で実施する検診会場に『保険証』と医療保険者が発行する『受診券』を持参することで受診できる場合もありますので、各医療保険者からのお知らせ等でご確認ください。

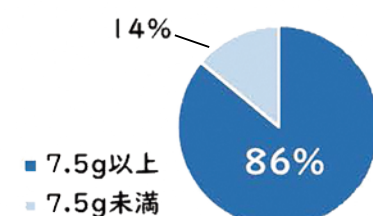
総合検診で1日の食塩摂取量の目安が分かります!(上記②と⑧受診者のみ)

※令和5年度総合検診で特定健康診査(国見町国保の方のみ)または健康診査(75歳以上対象)を受けただ方には、結果で「1日食塩摂取量(推計値)」をお知らせします。この機会にぜひ受診してみましょう。

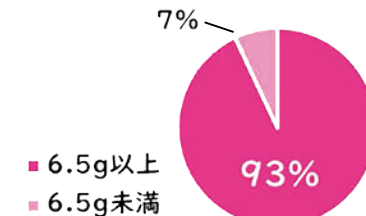
国見町民は「食塩」を摂りすぎています

令和4年度総合検診結果から、約9割の方が1日食塩接種基準量を超えていることが分かりました。

食塩摂取量基準値判定【男性】



食塩摂取量基準値判定【女性】



【1日あたりの食塩摂取量の目安】 男性 **7.5** g未満 女性 **6.5** g未満



国見町図書館からのお知らせや新刊図書情報を掲載しています。ぜひお友達登録してください！



▲LINE登録はコチラから



国見町図書館臨時休館のお知らせ

工事に伴うシステム停止のため、下記のとおり休館いたします。ご理解とご協力をお願いします。

期 間	1階図書館	5月3日(水)・4日(木)・11日(水)から15日(日)
	2階図書館	5月8日(月)・19日(金)から23日(火)

本の返却は観月台文化センター正面入口に設置の返却ボックスへ投函ください。

内池文庫コーナーを設置しました！

内池和子さんは、昭和47年に県内で初となる家庭文庫の内池文庫を開設しました。

家庭文庫とは、自宅と蔵書を開放し近所の子どもたちへ本の貸出やお話を聞かせる活動です。

内池さんは「読む力は生きる力を養う」、さまざまな人の生き方や考え方を学ぶことができることが本の魅力だと伝えていました。子どもたちに本を通して、豊かになってほしいとの思いから設立したものです。

内池さんが母と子のために収集した本を「内池文庫コーナー」として配架しました。ぜひ、手に取っててください。

内池和子さんの主な経歴

昭和47年～62年 内池文庫開設

昭和51年9月～平成22年3月 国見町図書室勤務

昭和55年～平成23年3月 福島子どもの本をひろめる会(会長)

平成23年4月～ 福島子どもの本をひろめる会(顧問)

平成24年 福島県文学賞 正賞(詩部門)

令和2年10月1日～ 国見町図書館名誉館長

令和3年 没



令和2年10月4日に開催された、図書館開館記念セレモニーで内池さんが紹介した本です。ぜひご覧ください。

■「おとうさんのちず」 ユリ・シュルヴィッツ／著

シュルヴィッツが画家として歩み始める原点を描いた自叙伝絵本。

■「このよでいちばんはやいのは」 ロバート・フローマン／著

このよで一番速いのは光？いや、光よりもっと速いものがある。それは…

■「青い図書カード」 ジェリー・スピネッリ／著

一枚の図書カードが登場人物に引き起こす4つのドラマとは。



「地域の学校応援団」ボランティア募集—— 地域学校協働本部

地域学校協働本部では、学校や家庭そして地域が一体となって子どもたちを育てることを目的とした支援活動に取り組んでいます。

学校では、地域の皆さんの協力を必要としています。子どもたちが笑顔で心豊かに過ごすために、「地域の学校応援団」として学校の要望に応じた学習支援や登下校の見守りなどのボランティア活動に参加してみませんか。

学校を支援するボランティア活動に興味がある方は問い合わせください。

☎生涯学習課生涯学習係 ☎585-2676



▲国見っ子わんぱく広場



▲学校支援活動「昔遊び」



▲学校支援活動「桃の収穫体験」



▲学校支援活動「読み聞かせ」



▲古典落語を披露する三遊亭好楽氏

落語の魅力に触れて

観月台寄席～古典落語を楽しむ会～

「笑点」大喜利メンバーでお馴染みの三遊亭好楽氏や柳家喬太郎氏、ねづっち氏を招いた「観月台寄席」を、3月21日に観月台文化センターホールで開催しました。

多くの来場者で会場は賑わい、時折出演者との掛け合いを楽しみながら、テンポよく繰り広げられる生の古典落語に聞き入っていました。



▲図書館の蔵書と出演者の皆さんの色紙を展示しています

4年ぶりに総合開会式を開催！

国見町長杯スポーツ大会

「令和5年度国見町長杯スポーツ大会」が4月23日からスタートし、5月28日までに11競技が上野台運動公園などの各体育施設で行われます。

コロナ禍の影響でできなかった総合開会式を4年ぶりに開催し、前回大会優勝者から国見町長へ優勝杯が返還されました。また、開会式後には家庭バレーボール競技とバウンドテニス競技が行われ、選手たちは練習の成果を存分に発揮し、熱戦を繰り広げました。



▲選手宣誓をする参加者たち

▶ Lifelong-Learning

生涯学習通信

国見町教育委員会生涯学習課(観月台文化センター)
☎585-2676 Fax585-2707
E-mail: shogai@town.kunimi.fukushima.jp

生涯学習課から工事のお知らせ

- ・観月台文化センター冷暖房設備改修工事(5月末まで)
- ・観月台文化センター正面玄関前タイル張替工事(7月末まで)
- ・観月台文化センター体育館解体工事(3月末まで)

※ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



▲「笑いヨガ」を体験する受講生たち

1年間よろしくお祈いします

くにみ観月台カレッジ開講式・記念講演

くにみ観月台カレッジの開講式が4月21日、受講生152人の参加のもと開催されました。安田節子委員長が「心身の健康を維持し、楽しく充実した活動にしていましよう」とあいさつ。昨年度よりも受講生が増え、活気あふれる開講式になりました。

あわせて開催した記念講演では、快フィットネス研究所の吉井雅彦氏を講師に迎え、「笑いヨガ」を行いました。受講生は自然と「笑い」に引き込まれ、笑いの中で講演が終了しました。

公民館事業

町民ハイキング

～雄国沼～

【雄国沼(福島県北塩原村)標高1,089m】

猫魔ヶ岳の火山活動によって誕生したカルデラ湖。5月から7月にかけてさまざまな高山植物が咲き誇り、湖面に映る美しい雄国沼を眺めながらの木道歩きが楽しめます。

■日 時 6月18日(日)

■参加料 お一人様 2,000円

■申し込み 町内在住または在勤の方20名(先着順)

・5月22日(月)午前9時から公民館窓口で受付。

・お一人様2名分まで申込可。

・参加料を添えて申し込みください。

あしなが育英会では、保護者が病気や災害、自死などで死亡または障がいの認定を受けていて、経済的な援助を必要としている生徒に対する給付型の奨学金事業を行っています。

▼**対象者** 高等学校（定時制・通信制を含む）、特別支援学校高等部、高等専門学校や5年一貫性高等学校の1から3年生、大学受験資格を得られる3年制の専修学校高等課程に在学している生徒

▼**募集人数** 350人程度

▼**申請期限** 令和5年5月20日[㊤]（消印有効）

▼**給付金額** 月額3万円（令和5年4月分から卒業まで）

▼**問い合わせ先** 詳しい申込方法等は、一般財団法人あし

あしなが高校奨学金

貸付要件や金額等については、社会福祉法人福島県社会福祉協議会に問い合わせください。

☎ 社会福祉法人福島県社会福祉協議会福祉サービス支援室（ひとり親貸付担当）
☎ 573-8200

福島県奨学資金募集

なが育英会または在籍する学校に問い合わせください。

☎ 一般財団法人あしなが育英会 〒102-8639 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館4階
☎ 0120-777-8565（平日午前9時から午後4時）

大学・短期大学、高校などに在学する人を対象とした福島県奨学生の募集を行います。

▼**応募資格** 福島県出身で大学・短期大学・高校などに在学する人

▼**貸与月額**

【大学】国公立（3万5千円）私立（4万円）

【高等専門学校】1万8千円

【高等学校、専修学校（高等課程）】国公立（自宅通学・1万8千円）（自宅外通学・2万3千円）私立（自宅通学・3万円）（自宅外通学・3万5千円）

▼**募集人員**

【大学・短期大学・高等専門学校】120名程度

【高等学校・専修学校（高等

テレビ受信障害対策工事について

携帯電話の新たな電波利用のため、令和5年6月に試験電波の発射が予定されており、一部のお宅ではテレビの映像が乱れる可能性があります。

影響が出る可能性のあるお宅には、一般社団法人700MHz（メガヘルツ）利用推進協会がチラシの配布を行います。詳しくはコールセンターまで問い合わせください。

☎ 700MHzテレビ受信障害対策コールセンター

福島市に公立夜間中学が開校します

※受付時間 午前9時から午後10時（年中無休）
☎ 0120-7000-012（フリーダイヤル）
☎ 050-3786-0700（IP電話等の場合）

さまざまな理由により中学校で十分に勉強できなかった方を対象に、令和6年4月から公立夜間中学が福島市に開校します。

▼**該当者**

①中学校を卒業していない方
②卒業はしたが、不登校などで十分に学べなかった方
③母国で義務教育を修了していない外国籍の方

▼**場所** 福島市総合教育センター1内（福島第四小学校併設・福島市天神町1-1番31号）
※入学方法や授業内容等、詳細はQRコードから

広告掲載

お知らせ

町職員の募集

町では令和6年4月1日採用予定の職員採用試験を実施します。町の課題を解決する意欲を持った若い職員を求めています。

【一般事務（行政）大学卒】

▼**募集人員** 若干名

▼**受験資格** 平成6年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた方で大学卒業又は令和6年3月までに卒業見込みの方

▼**募集期間** 5月10日[㊤]から6月9日[㊤]まで（郵送の場合は6月7日[㊤]の消印分まで）

▼**一次試験日** 7月9日[㊤]

※試験会場は、福島大学（福島市金谷川1番地）

▼**二次試験日** 一次試験合格者に通知します。

▼**試験方法**（二次） 教養試験、専門試験、適性試験（二次）面接

▼**申込用紙請求** 総務課で交付。郵便で用紙を請求する場合「大学卒試験申込用紙請求」と朱書きし、120円切

人権に関する困りごとの相談

毎年6月1日は「人権擁護委員の日」です。この日に合わせて、町では人権に関する困りごとや悩みごとの相談を受け付ける特設人権相談所を開設します。

今年も次の日程により人権擁護委員のほか、行政相談員と民生児童委員も合同で、さまざまな相談を受け付けます。相談は無料で、秘密は固く守られます。困りごとやお悩みのある方は、お気軽にご相談ください。

▼**日時** 6月1日[㊤]午前9時から正午

▼**会場** 観月台文化センター1・第一和室

※なお、「人権擁護委員の日」に限らず、人権に関する電話相談を受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

【みんなの人権110番】

ひきこもり相談事業

県北保健福祉事務所では、令和5年度ひきこもり相談事業を開催しています。ひとりで抱え込まずにお気軽に相談ください。

▼**個別相談（随時開催）** 保健師による個別相談を行い、対応を一緒に考えます。

▼**家族教室**（6月27日[㊤]午後1時30分から午後3時30分）同じ悩みを持つご家族で集まり、ひきこもりに関する知識や本人への関わり方、社会資源等について学びます。（全6回）

▼**公開講座**（6月27日[㊤]午後1時30分から午後3時30分）ひきこもりについて学ぶ機会として、家族教室第1回を公開します。本人、家族、関心ある一般の方どなたでも参加できます。

福島県ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

県ではひとり親の方に対して、福島県ひとり親高等職業訓練促進資金貸付事業を実施しています。

①高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格取得を目指す県内のひとり親の方に対して、入学準備金と就職準備金の貸付を行うもの。

②母子・父子自立支援プログラムの策定を受け、自立に向けて意欲的に取り組む県内のひとり親の方に対して、住宅支援資金の貸付を行うもの。

広告掲載

5/9	火	・広報くにみ 5 月号発行日
10	水	・いきいきサロン太田川（午前 10 時～） 第 3（午後 1 時半～）
11	木	・いきいきサロン耕谷（午前 10 時～） 藤田（午後 1 時半～） ・町長杯スポーツ大会（ウェルネス吹矢）
12	金	・いきいきサロン第 8・9（午前 10 時～） 第 4（午後 1 時半～）
13	土	・少年仲間づくり教室「開講式」
14	日	・町長杯スポーツ大会（ソフトボール・卓球・テニス）
15	月	・いきいきサロン泉田下（午後 1 時半～）
16	火	・いきいきサロン山根（午前 10 時～） 徳北・第 7（午後 1 時半～）
17	水	・いきいきサロン第 1（午後 1 時半～） ・ニコニコ相談会
18	木	・いきいきサロン第 2（午後 1 時半～） ・3 歳 6 か月児健診
19	金	・いきいきサロン大木戸（午後 1 時半～） ・町長杯スポーツ大会（グラウンドゴルフ）
20	土	
21	日	・町長杯スポーツ大会（軟式野球）
22	月	・いきいきサロン板橋（午前 10 時～）
23	火	・いきいきサロン石母田（午後 1 時半～）
24	水	・いきいきサロン大枝（午前 10 時～） 泉田中（午後 1 時半～）
25	木	・3・9 か月児健診 ・いきいきサロン源宗山（午前 10 時～） 光明寺（午後 1 時半～）
26	金	・観月台カレッジ全体学習「町長との意見交換会」
27	土	・国見っ子わんぱく広場「開所式」
28	日	・町長杯スポーツ大会（ソフトテニス・剣道）
29	月	
30	火	・いきいきサロン高城（午前 10 時～）
31	水	・いきいきサロン貝田（午後 1 時半～）
6/1	木	・いきいきサロン塚野目（午後 1 時半～） ・町長杯スポーツ大会表彰式
2	金	・いきいきサロン第 4（午後 1 時半～）
3	土	
4	日	・kunimi ジュニアリーダー（仮称）結団式
5	月	・いきいきサロン川内（午後 1 時半～） ・文化センター休館日
6	火	・いきいきサロン内谷・鳥取（午後 1 時半～）
7	水	・いきいきサロン太田川（午後 1 時半～）
8	木	・いきいきサロン耕谷（午前 10 時～） 藤田（午後 1 時半～）
9	金	・いきいきサロン第 8・9（午後 1 時半～）
10	土	・子ども司書講座「開講式」
11	日	

6月の休日当番医（診療時間：午前 9 時～午後 5 時）

当番日	医療機関名	電話番号
4 日	（医）大山クリニック （伊達市北後 13-1）	☎ 583-2136
11 日	（医）掛田中央内科 （伊達市霊山町掛田字西裏 49-1）	☎ 586-1315
18 日	（医）ながえクリニック （伊達市保原町中村町 30-1）	☎ 575-1118
25 日	（医）大泉ほんだクリニック （伊達市保原町大泉大地内 135-2）	☎ 563-7587

【休日救急歯科診療】（日・祝）
受付時間：午前 9 時から午後 4 時 30 分まで
場所：福島市保健福祉センター（福島市森合町 10 番 1 号）

※当番医が変更になる場合や診療していない科もありますので、事前に電話で確認のうえ、受診してください。

戸籍の窓口

3 月 21 日～ 4 月 20 日受付分

【当町窓口で受付した方で、町内に住所を有する方を掲載しています】

誕生おめでとう

齋藤 重ちゃん（鶉 町）
規朗さん 千尋さん

おくやみ申し上げます

佐藤 衛雄さん	84	（ 第 2 ）
吉田 弘さん	88	（ 本 町 ）
阿部 和夫さん	68	（ 大 木 戸 ）
遠藤 マサさん	90	（ 山 根 ）
高橋 正之さん	70	（ 源宗山西 ）
舟山 義美さん	87	（ 大 町 南 ）
高橋 豊壽さん	88	（ 鳥 取 ）
鈴木 政男さん	94	（ 川 内 ）

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯

令和 5 年 3 月 31 日現在

※住民基本台帳人口

人口	8,303 人	（－ 40）
男	4,000 人	（－ 16）
女	4,303 人	（－ 24）
世帯	3,376 世帯	（－ 3）

今月の納期限は 5 月 31 日

町税は『地方税お支払いサイト』からの納付や
納め忘れのない『口座振替』が大変便利です

軽自動車税（種別割）【全期】

税務課収納係 ☎ 585-2780

伊達西根堰土地改良区費【前期分】

伊達西根堰土地改良区 ☎ 582-2319

- ・納め忘れがあると、督促状が届いたり延滞金が発生したりします。期限内に納付しましょう。
- ・振替口座の預貯金残高を前日までに確認しましょう。
- ・コンビニエンスストアやスマートフォン決済アプリからの納付も可能です。詳しくは町 HP をご確認ください。

各種相談会

『心配ごと相談』

- ◆日 時 6 月 22 日 午前 9 時～正午
- ◆場 所 観月台文化センター 第 2 和室
- ◆相談員 民生児童委員

『国見町結婚世話やき人 月例相談会』

- ◆日 時 6 月 25 日 午後 1 時～午後 3 時
- ◆場 所 観月台文化センター 第 2 研修室

※秘密は厳守、相談無料です。

福祉課社会福祉係 ☎ 585-2793

教育委員会

- ◆日 時 5 月 12 日 午後 5 時 15 分から
- ◆場 所 観月台文化センター
- ※傍聴希望の方は事前連絡をお願いします。

教育総務課 ☎ 585-2892

農業委員会

- ◆日 時 5 月 17 日 午後 1 時 30 分から
- ◆場 所 役場 2 階 大会議室

農業委員会事務局 ☎ 585-2890

『広報くにみ』をもっと身近に



マチイロ

マチを好きになるアプリ



＼ダウンロードはこちら／



市区町村の広報紙をネットやスマホで

＼ホームページにアクセス／

マイ広報紙



広報くにみ 4 月号のお詫びと訂正

広報くにみ 4 月号 8 ページに記載の記事において、誤りがありました。正しくは次のとおりです。ご迷惑をおかけしたことを深くお詫びし、訂正させていただきます。

■訂正箇所【誤】菊地美喜雄 → 【正】菊池美喜雄

マイナンバーカード
休日臨時相談窓口

マイナンバーカードの交付申請や受け取り、マイナポイントの申請手続きをお手伝いします。
マイナポイントには申請期限があります。早めに申請ください。

- ◆日時 5 月 28 日 午前 9 時～午後 4 時
- ◆受付場所 住民防災課戸籍係（緑の 1 番窓口）
住民防災課戸籍係 ☎ 585-2115

町営住宅・定住促進住宅の
空室状況をお知らせします
（令和 5 年 4 月末）

定住促進 住宅	空室なし	滝山団地	1 部屋
子育て住宅	空室なし	板橋南団地	空室なし

建設課管理係 ☎ 585-2972

広告掲載

夢に向かって

国見町を知ってもらいたい——

佐藤 孝信 さん（県北中3年）

僕の夢は、国見町にゲストハウスを建てることです。

日本人だけでなく、外国人にも利用してもらって、たくさんの人たちと交流してみたいです。

ゲストハウスを建てたいと思ったきっかけは、中学校の校外学習で、町には道の駅以外に宿泊施設がないということを知ったことと、放課後塾ハルのプロジェクトで、京都府宮津市の「宮津ゲストハウス・ハチハウス」に宿泊したことです。ハチハウスはとても雰囲気の良いゲストハウスで、ぜひまた宿泊したいと思っています。

夢を叶えるために、今頑張っていることが3つあります。1つ目は、いろいろな事にチャレンジして、積極的にリーダーを務めるようにしていることです。部活動では副部長を務めて、部員をまとめながら良い結果を残せるように頑張っています。2つ目は、外国人と交流するために英語の学習を集中して頑張っています。将来、絶対に必要になると思うので、しっかり学んで身に付けたいと思っています。そして最後は、いろいろな所に行ったり、調べたりして町の良さを再確認しています。他の町の良いところを知ると、国見町にもこんなに良い所があったんだと、改めて感じるができます。

夢が叶ったら、たくさんの人が気軽に集まって、いつでも遊びに来てもらえる、温かい雰囲気のゲストハウスにしたいと思っています。そして、町の中心になるような交流の場にして、たくさんの人に国見町を訪れて欲しいです。



「国見町のことをもっとたくさんの人に知ってもらいたい、国見町が大好きなんです！」と目を輝かせて話す佐藤孝信さん。
夢の実現に向かって、頑張る姿に頼もしさを感じることができました。

町長コラム



ま真こらむ

【第22回】

欠けていたこと

住民説明会は、国見町という行政組織の責任者として、一連の問題について町民の声を直に聞き、真正面から受け止めるために行いました。厳しい質問と意見が続出。これは今回の問題に対する引地の判断への疑問符。当然に当事者として反省しています。申し訳ありませんでした。二度とこのようなことを起こさないよう、第三者委員会に検証をお願いし、問題点を洗い出し、しっかりした体制やルールを作ることとします。

自問自答の中で思ったことは「自身の考えを相手に理解してもらうためにはどうしたら良いか」ということ。これまでは相手の話を聞きながらも、説明を尽くせばお互いに理解し合えるものと思っていたけれど、それは間違いと。自身の話を理解してもらうためには、先に相手の話を十分に聞くことが大事ということ。至極、当たり前のことと。

これは町政運営にも当てはまること。この職に就いて2年半余り、新型感染症の中、こじんまりと行ってきたタウンミーティングや町内会要望の方部会などは、確かに町民の声を聞く場ではあったけれど、十分ではなかったのではと。また、国見町が抱える課題への施策対応はしてきたつもりだけれど、それが本当に町民の幸せ感を上げるために役立ったのだろうか。

5月には新型感染症の取り扱いが見直されます。原点回帰。施策の源は町民にある。これまで遠慮していたタウンミーティングを全町で行おうと考えています。

引地真